

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第5週の発生動向

### 全数報告の感染症 (5週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 5例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。  
5類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1例、播種性クリプトコックス症 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	肺結核	症状なし 画像所見あり
			50歳代	女	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		延岡	50歳代	女	無症状病原体保有者	—
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	70歳代	男	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	男	—	頭痛、意識障害、項部硬直

### 定点把握の対象となる5類感染症

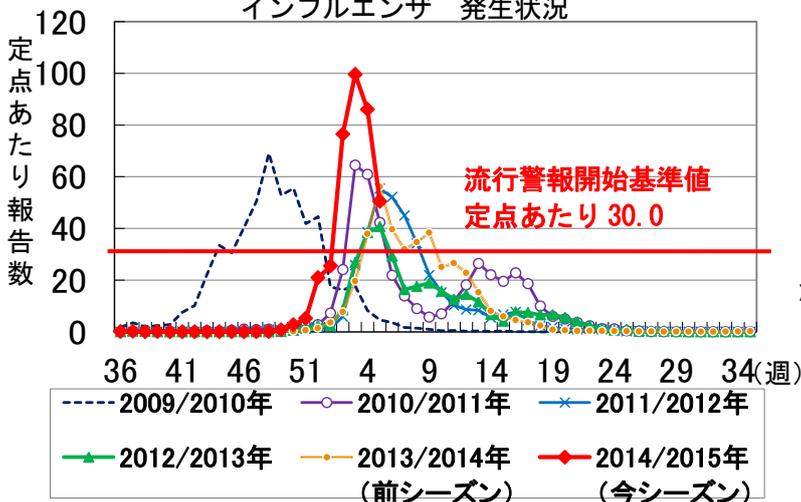
・定点医療機関からの報告総数は 3,486 人 (定点あたり 66.9) で、前週比 64%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌感染症で、減少した疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

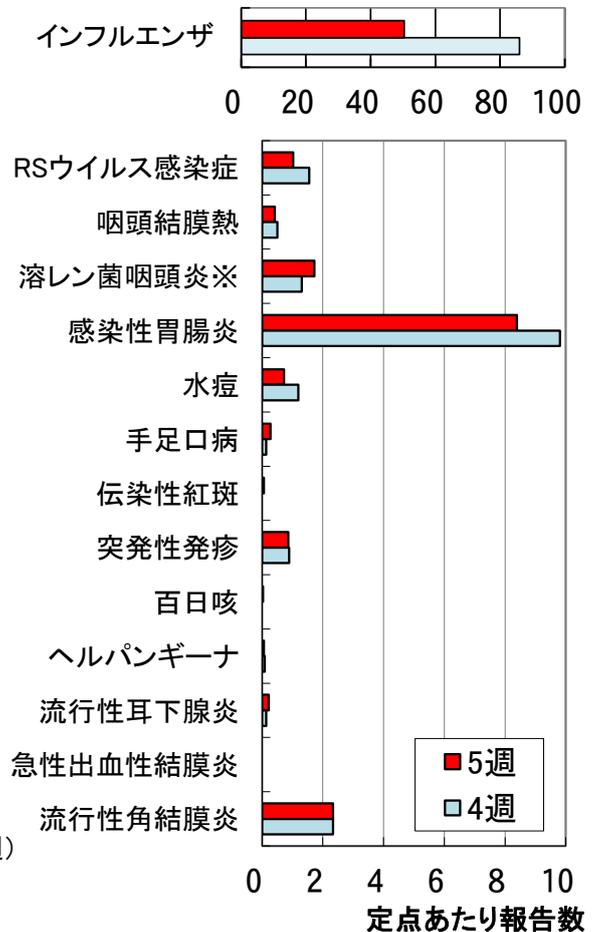
##### 【インフルエンザ】

・報告数は 2,973 人 (50.4) で、前週比 59%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\* (42.7) の約 1.2 倍であった。都城 (62.4)、小林 (59.2)、延岡 (56.7) 保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の 25%、5-9歳が 31%、10-14歳が 18%、15-19歳が 4%、20-59歳が 15%、60歳以上が 7%を占めた。

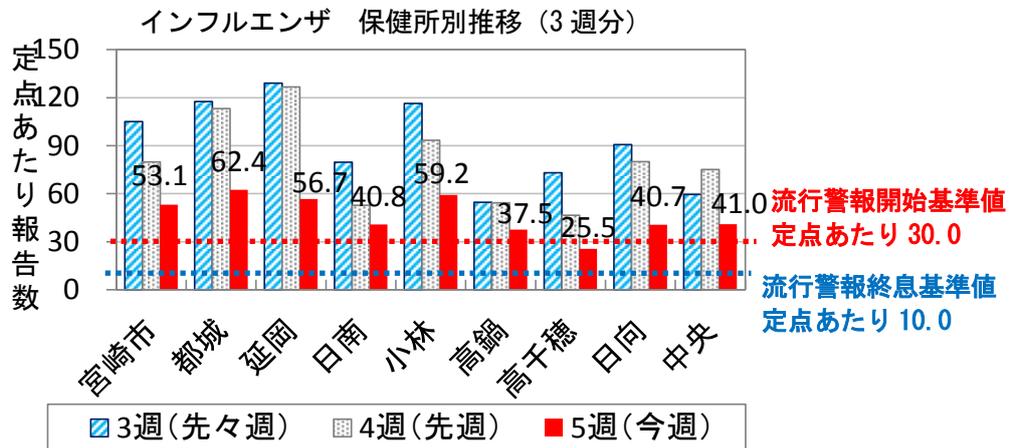
\* 過去4年間の当該週、前週、後週 (計12週) の平均値  
インフルエンザ 発生状況



### 《前週との比較》



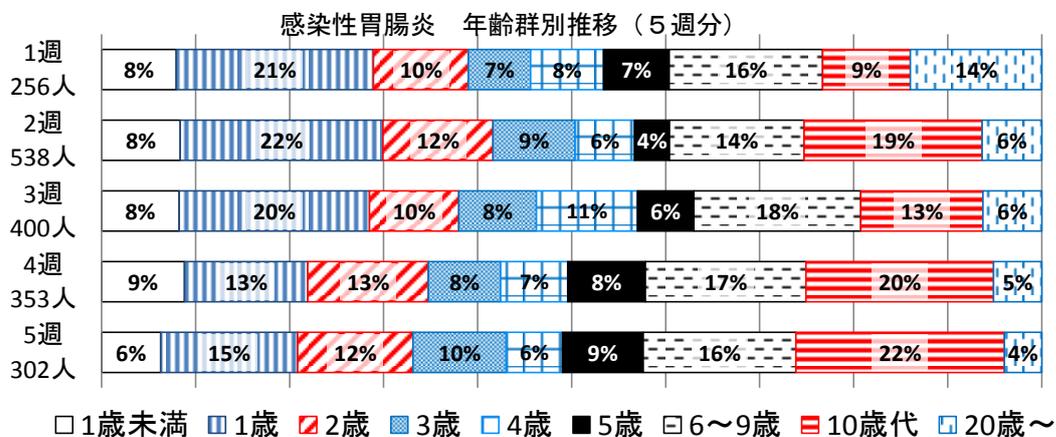
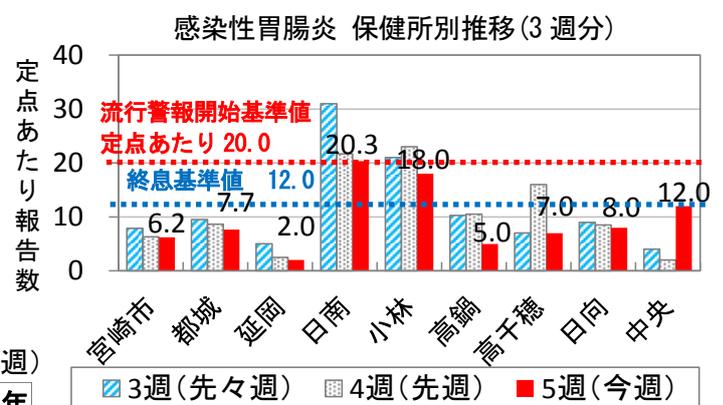
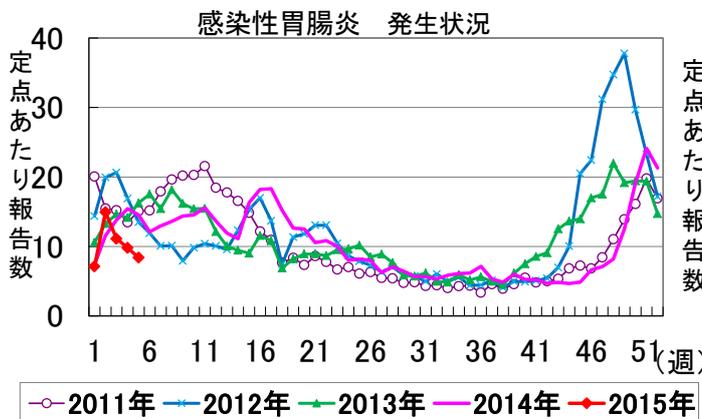
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



#### 【感染性胃腸炎】

・報告数は302人(8.4)で前週比86%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(16.3)の約0.5倍であった。日南(20.3)保健所からの報告が多く、年齢別割合の推移をグラフに示す。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



#### ★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(53.1)
都城	インフルエンザ(62.4)
延岡	インフルエンザ(56.7)
日南	インフルエンザ(40.8)、感染性胃腸炎(20.3)
小林	インフルエンザ(59.2)
高鍋	インフルエンザ(37.5)
高千穂	インフルエンザ(25.5)、伝染性紅斑(2.0)
日向	インフルエンザ(40.7)
中央	インフルエンザ(41.0)、A群溶血性レンサ球菌感染症(8.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*  
 ・インフルエンザ(30.0)  
 ・感染性胃腸炎(20.0)  
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)  
 ・伝染性紅斑(2.0)  
 \* 流行注意報レベル基準値 \*  
 ・インフルエンザ(10.0)

★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：都城保健所管内で1例報告された。0歳で原因病原体はRSウイルス。

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：高鍋保健所管内で2例報告された。10歳代・90歳代各1例で、原因病原体はロタウイルス群別不明。

🇯🇵 全国第4週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第4週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	346例				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	12例	腸チフス	1例
	パラチフス	1例				
4類感染症	A型肝炎	6例	つつが虫病	2例	デング熱	1例
	レジオネラ症	20例				
5類感染症	アメーバ赤痢	22例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	7例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	39例
	水痘（入院例）	2例	梅毒	21例	破傷風	5例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	1例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌感染症で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 195,025 人(39.4)で、前週比 107%と増加した。宮崎県(86.1)、鹿児島県(78.6)、山口県(75.1)からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の約19%、5～9歳が32%、10～14歳が20%、15～19歳が4%、20～59歳が18%、60歳以上が7%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌感染症の報告数は 7,381 人(2.3)で、前週比 127%と増加した。島根県(5.5)、石川県(5.3)、鳥取県(4.6)からの報告が多く、年齢別では4～6歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第5週(1月26日～2月1日)

疾病名		第4週	第5週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5077	2973	850	624	397	204	296	225	51	244	82
	定点あたり	86.05	50.39	53.13	62.40	56.71	40.80	59.20	37.50	25.50	40.67	41.00
RSウイルス 感染症	報告数	56	37	7	4	12			6		7	1
	定点あたり	1.56	1.03	0.70	0.67	3.00	0.00	0.00	1.50	0.00	1.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	18	15	2	1	1	6	1			4	
	定点あたり	0.50	0.42	0.20	0.17	0.25	2.00	0.33	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	62	15	6	11	7		2	6	7	8
	定点あたり	1.31	1.72	1.50	1.00	2.75	2.33	0.00	0.50	6.00	1.75	8.00
感染性胃腸炎	報告数	353	302	62	46	8	61	54	20	7	32	12
	定点あたり	9.81	8.39	6.20	7.67	2.00	20.33	18.00	5.00	7.00	8.00	12.00
水痘	報告数	43	26	5	2	11	1		2		2	3
	定点あたり	1.19	0.72	0.50	0.33	2.75	0.33	0.00	0.50	0.00	0.50	3.00
手足口病	報告数	5	10	1	3						6	
	定点あたり	0.14	0.28	0.10	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
伝染性紅斑	報告数		2							2		
	定点あたり	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	31	11	5	4	4	2	4		1	
	定点あたり	0.89	0.86	1.10	0.83	1.00	1.33	0.67	1.00	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	2	1					1			
	定点あたり	0.08	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	8	2	1	4		1				
	定点あたり	0.14	0.22	0.20	0.17	1.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	14	14	14								
	定点あたり	2.33	2.33	4.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		2						2			
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～5週)

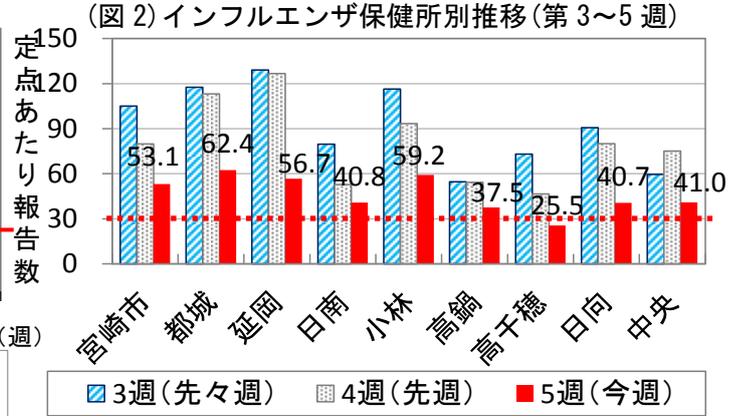
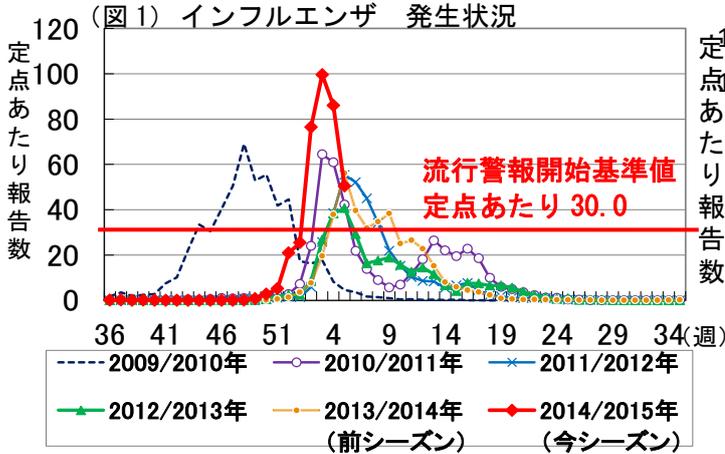
2類感染症	結核	21例(5)				
4類感染症	つつが虫病	3例				
5類感染症	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	播種性クリプトコックス症	1例(1)
	破傷風	1例				

( )内は今週届出分、再掲

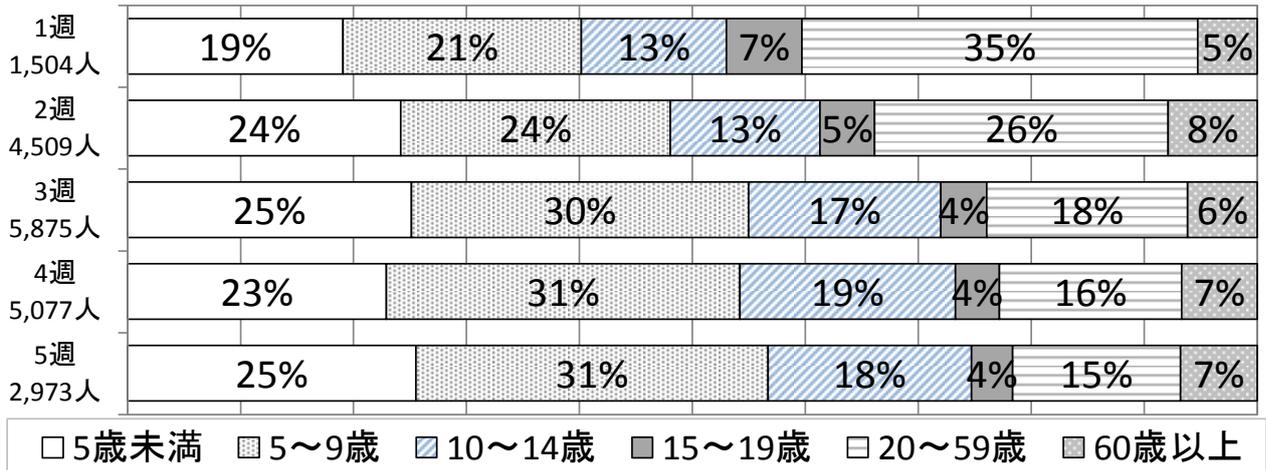
## インフルエンザ情報 《県内第5週、全国第4週（再掲）》

### □ 県内第5週インフルエンザ発生動向

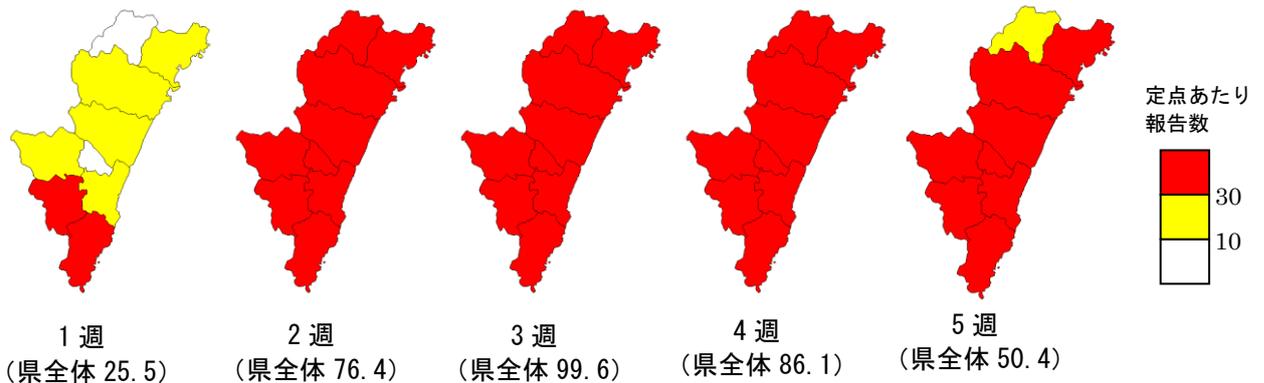
2015年1月26日～2月1日までの1週間で2,973人（定点あたり50.4）の報告があり、前週の約0.6倍に減少した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（42.7）の約1.2倍であった。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の割合の推移を（図3）に示す。



(図3) 年齢群別割合の推移(第1～5週)



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第1～5週



### □ 全国第4週インフルエンザ発生動向

2015年1月19日～1月25日までの1週間で195,025人（39.4）の報告があり前週比107%と増加した。宮崎県（86.1）、鹿児島県（78.6）、山口県（75.1）からの報告が多く、36県で流行警報レベル開始基準値（30.0）を超えている。年齢別では、5歳未満が全体の19%、5～9歳が32%、10～14歳が20%、15～19歳が4%、20歳代～50歳代が18%、60歳以上が7%を占めた。